

日誌

日誌 04月28日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 35.5°C 体調良好	
欠席・遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00	薬歴振り返り 薬歴振り返り 服薬指導 昼休み 薬歴記入 面談 在宅 在宅 報告書作成 日誌記入
場所	薬局(よもぎ薬局)、患者宅	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(1)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(1)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(1)名、その他(0)名	

日誌

日誌 04月28日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p>【服薬指導】 ピーエイ配合錠 カルボシステイン錠500mg テオフィリン徐放錠100mg アンブロキソール塩酸塩徐放カプセル45mg レボフロキサン錠500mg ロキソプロフェンNa錠60mg アドエア250ディスカス28吸入用28ブリスター 咳症状を主訴として来局した。カフェインをよく摂ると伺ったので、テオフィリンの服用に関しては、カフェイン摂取による相互作用について注意するよう伝えた。 吸入薬使用が初めてであったため、説明書を用いながら吸入方法を説明した。 指導薬剤師による吸入実演を通して、患者の理解促進が図れた(結構息吸うんですねと驚いていた)。 吸入薬指導では、患者の理解度に応じた説明や、必要に応じて実際に吸入しているところを確認を行う重要性を学んだ。 咽頭痛から咳症状へ移行する経過は一般的な風邪の進行と一致しており、急激な悪化はみられない。</p> <p>【在宅医療】 2週に一度の90代男性患者宅を訪問。 訪問前に、朝の排尿時に血尿があったとの報告を受けていた。 血尿の鑑別として、尿路結石、膀胱炎、前立腺疾患、膀胱癌、ミオグロビン尿などを考慮した。 患者はリクシアナ服用のため出血傾向であり、また鉄剤服用中のため黒色便なので便潜血を見落としやすい点にも留意した。 痛みの訴えがないことや、がん検診や泌尿器検診で指摘を受けたことはないと話していた。 夕方に再度血尿が出現したとヘルパーより連絡があったため、薬局からも訪問医に連絡を行っていた。</p>
----------	---

日誌

日誌 04月28日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
		薬学臨床の基礎	
	1	【②臨床における心構え】 [全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照]	<input type="radio"/>
処方せんに基づく調剤		処方せんに基づく調剤	
	2	【②処方せんと疑義照会】 [B 処方監査・医療安全]	<input type="radio"/>
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】 [A 医薬品の調製]	<input type="radio"/>
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】 [C 服薬指導]	<input type="radio"/>
	5	【⑤医薬品の供給と管理】 [A 医薬品の調製]	
	6	【⑥安全管理】 [B 処方監査・医療安全]	<input type="radio"/>
		薬物療法の実践	
	7	【①患者情報の把握】 [C 服薬指導]	<input type="radio"/>
	8	【②医薬品情報の収集と活用】 [E 3 (1) 参照] [C 服薬指導・D 薬物療法の実践]	<input type="radio"/>
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】 [D 薬物療法の実践]	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】 [D 薬物療法の実践]	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
		チーム医療への参画	
	1	【②地域におけるチーム医療】	
		地域の保健・医療・福祉への参画	
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
独自評価		【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	選択
	4	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月28日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<ul style="list-style-type: none">・吸入薬は実際に吸うところも実演できるようにしたい。ただ説明書を確認するだけでは吸い込む力の強さがイメージできない服薬指導だったと思う。・患者の年齢や理解度的には説明書のQRから使用方法の動画にアクセスできそうなので、その点も案内するべきだった。・袋を開けて説明したが、実物を使わなくてもわかりやすい説明ができた方が良いと思った
添付資料	薬局実習報告書様式 のコピー. docx
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	薬局実習報告書様式 のコピー (コメント入り). docx

日誌

日誌 04月29日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.1°C 体調不良
欠席・遅刻・早退の理由	
1日のスケジュール	8:00
	9:00
	10:00
	11:00
	12:00
	13:00
	14:00
	15:00
	16:00
17:00	
場所	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名

日誌

日誌 04月29日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

日誌

日誌 04月29日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
		薬学臨床の基礎	
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A（1）、（2）参照〕	
処方せんに基づく調剤		処方せんに基づく調剤	
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
		薬物療法の実践	
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E 3（1）参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の（処方設計と提案）】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
		チーム医療への参画	
	1	【②地域におけるチーム医療】	
		地域の保健・医療・福祉への参画	
	2	【①在宅（訪問）医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）への参画】	
独自評価		【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	選択
	4	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月29日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月30日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 35.5°C 体調良好	
欠席・遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00	到達度評価 到達度評価 調剤 昼休み 介護報告書作成 調剤 服薬指導 調剤
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(1)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 04月30日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p>【服薬指導】 ニフェジピンCR錠40mg ドキサゾシン錠2mg ラベプラゾールNa錠10mg エスゾピクロン錠1mg</p> <p>高血圧および不眠の訴えに対する服薬指導。 患者は夜間の頻尿による中途覚醒と、その後の入眠困難を主訴としていた。不眠の根本的な原因が夜間頻尿であることから、原因を切り分けた考え方が必要となるが、薬局で現時点ができる対応として、薬の使い方の提案だった。 睡眠薬（エスゾピクロン）については、寝つきが良好な日は就寝時の服用はせず、トイレ覚醒後に眠れない場合のみの使用を提案していた。 今後も改善しない場合、夜間頻尿の精査を医師に相談するよう促すことも薬局として可能な支援の一つであると考え、指導薬剤師とディスカッションを行った。</p> <p>【到達度評価（薬物療法の問題点の抽出・解析）】 過去の服薬指導を振り返り、関節リウマチ治療でメトトレキサート（MTX）を使用している患者の薬物治療について一例として検討した。患者はMTXによる免疫抑制の影響で感染症や口唇ヘルペスを繰り返しており、用量を減らすとリウマチ症状が悪化するという課題があった。 現状ではMTXに固執した治療が継続されているが、生物学的製剤など他の治療選択肢の検討がされているか、また膠原病を専門とする医師の関与があるかなど、さらなるアセスメントの余地があると考えられた。 今後、かかりつけ薬剤師として関与する機会がある場合には、セカンドオピニオンの提案を含め、患者に対して主体的に薬物療法の見直しを図ることができる可能性がある。</p>
----------	---

日誌

日誌 04月30日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
		薬学臨床の基礎	
	1	【②臨床における心構え】 [全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照]	<input type="radio"/>
処方せんに基づく調剤	2	【②処方せんと疑義照会】 [B 処方監査・医療安全]	<input type="radio"/>
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】 [A 医薬品の調製]	<input type="radio"/>
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】 [C 服薬指導]	<input type="radio"/>
	5	【⑤医薬品の供給と管理】 [A 医薬品の調製]	<input type="radio"/>
	6	【⑥安全管理】 [B 処方監査・医療安全]	<input type="radio"/>
		薬物療法の実践	
	7	【①患者情報の把握】 [C 服薬指導]	<input type="radio"/>
	8	【②医薬品情報の収集と活用】 [E 3 (1) 参照] [C 服薬指導・D 薬物療法の実践]	<input type="radio"/>
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】 [D 薬物療法の実践]	<input type="radio"/>
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】 [D 薬物療法の実践]	<input type="radio"/>
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
		チーム医療への参画	
	1	【②地域におけるチーム医療】	
		地域の保健・医療・福祉への参画	
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
独自評価	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月30日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	・高血圧と不眠症の患者には、以前から下痢傾向があるため排便状況の確認をする予定だったが、事前に薬歴を確認する時間を取り忘れたため聞き忘れてしまった。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 05月01日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 35.2°C 体調良好
欠席・遅刻・早退の理由	
1日のスケジュール	8:00 過去の薬歴振り返り 9:00 過去の薬歴振り返り 10:00 過去の薬歴振り返り 11:00 昼休み 12:00 発注 13:00 調剤 14:00 服薬指導 15:00 服薬指導 16:00 帰宅 17:00
場所	薬局(よもぎ薬局)
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(1)名、その他(0)名
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(1)名、その他(0)名

日誌

日誌 05月01日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p>【服薬指導①】高血圧 アムロジピン錠5mg 患者は、血圧は130mmHg前後で安定しているとのことで、診察を受けずに薬のみを受け取りに来局した。低血圧などの症状がないかを確認したが、「歳だから常にふらついている」との回答であった。歩行時の足取りがやや不安定な印象を受けた。 服薬指導時の血圧の評価は、収縮期血圧のみでてしまうことが多いが、本当はそれだけで判断せず、拡張期血圧や脈拍も含めた総合的な評価ができると良い。目立った症状がなくても脳梗塞等の重篤なイベントが起こる可能性があることを指導薬剤師より教わった。</p> <p>【服薬指導②】気管支炎 アンブロキソール塩酸塩徐放カプセル45mg ソロブテロールテープ2mg 4月9日より気管支炎および風邪症状で継続して来局していた。咳はないものの、息苦しさが現在も続いていると訴えていた。服薬指導では、貼付薬の貼付位置について患者自身が理解しており、薬の使用経験や薬識が良好である様子がうかがえた。 既往歴や入院歴との関連があるような発言があったが、詳細は不明であった。</p> <p>【在庫管理：発注業務】 処方頻度、現在の在庫量、発注ポイントをもとに発注業務を経験。季節性を考慮し、花粉症関連薬（ex：オロパタジン）など需要が高い薬の発注を行った。また、少数の患者に定期的に処方される薬については、薬歴を確認しながら在庫管理の必要性を理解した。 麻薬や冷所保存薬は返品不可であるため、発注は慎重に行う必要があることを学んだ。麻薬廃棄時には知事への届け出および立ち会いが必要となる。一方で、麻薬小売業者間の譲渡は、事前の申請により可能であることも確認した。</p>
----------	---

日誌

日誌 05月01日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
		薬学臨床の基礎	
	1	【②臨床における心構え】 [全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照]	<input type="radio"/>
処方せんに基づく調剤	2	【②処方せんと疑義照会】 [B 処方監査・医療安全]	<input type="radio"/>
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】 [A 医薬品の調製]	<input type="radio"/>
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】 [C 服薬指導]	<input type="radio"/>
	5	【⑤医薬品の供給と管理】 [A 医薬品の調製]	<input type="radio"/>
	6	【⑥安全管理】 [B 処方監査・医療安全]	<input type="radio"/>
		薬物療法の実践	
	7	【①患者情報の把握】 [C 服薬指導]	<input type="radio"/>
	8	【②医薬品情報の収集と活用】 [E 3 (1) 参照] [C 服薬指導・D 薬物療法の実践]	<input type="radio"/>
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】 [D 薬物療法の実践]	<input type="radio"/>
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】 [D 薬物療法の実践]	<input type="radio"/>
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
		チーム医療への参画	
	1	【②地域におけるチーム医療】	
		地域の保健・医療・福祉への参画	
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
独自評価	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 05月01日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<ul style="list-style-type: none">・患者がふらつきを「年齢のせい」と説明した際に、そのまま受け入れてしまい、他の要因を考慮する視点が欠けていた。年齢を理由に安易に判断せず、常に他の可能性を検討する姿勢が必要であると感じた。・自身の薬物治療に対する関心が薄く、服薬コンプライアンスも不十分であった。今後は、自分の薬物治療にも積極的に関心を持ち、学習機会として活用していきたい。・麻薬に関する知識が不十分であり、麻薬の種類、取り扱い、廃棄・譲渡等の実務的知識が欠けていた。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 05月02日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 35.1°C 体調良好	
欠席・遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00	実習全体の振り返り 実習全体の振り返り 一包化 昼休み 調剤 調剤 服薬指導 服薬指導
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(1)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(1)名、その他(0)名	

日誌

日誌 05月02日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p>【服薬指導】 ピーエイ カルボシスティン デキストロメトルファン テオフィリン徐放錠100mg ロキソプロフェンNa錠60mg</p> <p>患者は喉の痛みから始まり、咳とぜえぜえを訴え、咳喘息を疑って受診した。普段から車の運転する機会が多いと話しており、ピーエイによる眠気に注意するよう伝えた。 カフェインの摂取習慣はないとのことで、テオフィリンとの相互作用に関する指導は最小限とした。 1ヶ月前にも風邪で来局しており、今回の風邪との関連はないと考えられるが、その際にアドエアが処方されていた記録があつたため、今回の咳喘息症状が長引いた場合に備え、吸入薬が残っているようであれば保管しておくよう指導薬剤師からもコメントがあった。</p> <p>【一包化 監査】 朝・夕で何錠ずつかを確認したが間違えていた。 処方上ではプラザキサカプセルは一包化となっていたが、実際にはプラザキサカプセルには吸湿性があり、患者さんの手元で溶けてしまうため一包化はできないと指摘を受けた。 添付文書上も「一包化不可」「服用直前にPTPシートから取り出すこと」「アルミピロー包装のまま調剤を行うことが望ましい」の記載があった。</p> <p>【患者様から】 これまで継続してお世話になっていた患者様方より、ご挨拶と励ましの言葉をいただき、わたくしからも感謝の気持ちをお伝えしました。</p>
----------	--

日誌

日誌 05月02日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
		薬学臨床の基礎	
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A（1）、（2）参照〕	<input type="radio"/>
処方せんに基づく調剤		処方せんに基づく調剤	
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	<input type="radio"/>
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	<input type="radio"/>
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	<input type="radio"/>
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	<input type="radio"/>
		薬物療法の実践	
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	<input type="radio"/>
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E 3（1）参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の（処方設計と提案）】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
		チーム医療への参画	
	1	【②地域におけるチーム医療】	
		地域の保健・医療・福祉への参画	
	2	【①在宅（訪問）医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）への参画】	
独自評価		【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	選択
	4	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 05月02日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	一包化の可否は、今まで処方箋や薬歴を見て判断する多く、それで監査した気になっていた。一包化でなくても機械監査があるので、監査した気になっていたと思う。 今回、プラザキサはアルミピロー包装だったので、薬を揃える段階で包装を見てよく考えれば「このまま一包化して保存できるのか?」と疑問を抱けたはずだが、その点で立ち止まって確認することができなかった。 ちゃんと調剤したつもり、監査しているつもり、といった漫然とした作業になつていなか自分の取り組み方を見直す必要があると思った。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 05月03日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 35.6°C 体調良好
欠席・遅刻・早退の理由	
1日のスケジュール	8:00
	9:00
	10:00
	11:00
	12:00
	13:00
	14:00
	15:00
	16:00
17:00	
場所	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名

日誌

日誌 05月03日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

日誌

日誌 05月03日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
		薬学臨床の基礎	
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A（1）、（2）参照〕	
処方せんに基づく調剤		処方せんに基づく調剤	
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
		薬物療法の実践	
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3（1）参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の（処方設計と提案）】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
		チーム医療への参画	
	1	【②地域におけるチーム医療】	
		地域の保健・医療・福祉への参画	
	2	【①在宅（訪問）医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）への参画】	
独自評価		【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	選択
	4	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 05月03日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 05月04日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.0°C 体調良好
欠席・遅刻・早退の理由	
1日のスケジュール	8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00
場所	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名

日誌

日誌 05月04日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

日誌

日誌 05月04日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
		薬学臨床の基礎	
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
処方せんに基づく調剤		処方せんに基づく調剤	
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
		薬物療法の実践	
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E 3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
		チーム医療への参画	
	1	【②地域におけるチーム医療】	
		地域の保健・医療・福祉への参画	
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
独自評価		【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	選択
	4	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 05月04日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	